

令和7年度 4月の補導活動

佐久市少年センター

1 街頭補導実施回数	14 回
2 延べ従事補導委員数	23 人
3 相談件数	0 件
4 補導した少年数	0 人
5 声かけ人数	216 人



4月の活動日誌から

4月1日（火）

専門補導委員 記

巡回経路

中込地区内の公園（佐久総合運動・アベニュー団地内・平賀新町・水上・橋場・成田・成知）および学童保育

活動の様子

新年度初日の街頭補導活動を実施した。3月下旬には、真夏日目前まで気温が上昇した日があったが、今日は氷雨が降る寒い日であり、佐久総合運動公園と成知公園以外の公園に人影はなかった。佐久総合運動公園では、少年の姿は全くない半面、大勢の老人がマレットゴルフに興じていた。「子どもは風の子」ではなく、現代は「老人は風の子」なんて勝手に思い、少し寂しい気持ちになった。成知公園では、2組の少年が遊んでいた。1組は、小学新5年生の男子4名で、サッカーボールを蹴って遊んでいた。もう1組は中学新2年生の女子4名で雲梯や鬼ごっこをやって遊んでいた。中には、半袖姿の男の子もあり、「子どもは風の子」は死語ではないと思い、ほっとした。自転車で来園していたので、交通事故に遭わないようにと声かけをしてその場を離れた。学童保育では、今日もたくさんさんの児童が利用しており、明るい元気な声が館内に響き渡っていた。

4月2日（水）

専門補導委員 記

巡回経路

宇とう公園 → 駒場公園 → 中央図書館 → さくらさく小径
→ 成田公園 → 橋場公園

活動の様子

午前中は、小雨がぱらつき、午後になり雨はやんだが曇天模様、気温は上がらない中での巡回となった。宇とう公園では、親子が野球グローブを手にキャッチボールを始め、傍らには、バットも用意されていた。聞いたところ、男児は、小学新2年生とのことで新しいグローブで父親とキャッチボールを楽しそうにしていた。駒場公園では、室内プールに向かう父親と2人の幼児に出会い、聞くと「今日が、初めてのプールなんです」と父親が笑顔で答えてくれた。引き続き、ふた組の親子が同じプールに向かってきた。引率は、いずれも父親のようで大変だ。中央図書館に向かうと、幼児を連れたパパ、ママが幼児対象の図書ルームで読み聞かせをしているようだった。2階の部屋では、新高校生となる2名

が入学にあたり与えられた課題学習に取り組んでいた。クラブ活動については、野球部を希望しているとのことで1名は中学からの継続、もう1名はバスケットボールクラブ部からの挑戦とのこと。充実した高校生活を願うばかりである。さくさく小径に行くと、ウォーキングや愛犬と散歩を楽しむ成人男女が多く見られた。成田公園では、中学新3年生2名に出会うことができた。うち、1名は、野球のシニアチームに在籍しているようで先日、全国の大会に臨み、ベスト8の成績だったと誇らしさと悔しさの入り混じった様子で答えてくれた。もう1名の生徒は、「バスケットボールをしている」と答えてくれた。ともに受け答えのしっかりした生徒でこれからの活躍を祈っている旨を伝え、手を振って別れた。本日最後の巡回、橋場公園では、ウォーキングをしている壮年男性1名がいた。

4月4日（金）

専門補導委員 記

巡回経路 成知公園 → 学童保育 → 下の宮公園 → 臼田小学校通学路
→ 原公園 → 城山公園 → 生涯学習センター

活動の様子

そこかしこの梅花をながめながら、陽春の街頭を巡回した。成知公園に人影はないが、穏やかな春の陽に照らされた遊具が、子どもたちの訪れを待っているように感じられる。近くの学童保育では、入学式・始業式のため、児童はおらず、ひっそりとしていた。臼田地区に足を伸ばし、下の宮公園に立ち寄ると、5名の小学生が野球をしていた。軟式球を見事に打返した児童は、右投げ左打ちで、そのわけを尋ねると「左打ちの方が一塁ベースに近いから」ときっぱり答えてくれた。あの選手の影響を予想していた我々は、明快な回答に驚いた。野沢の公園を見回り、生涯学習センターに向かった。新しく開設された駐車場に車を止め、入口を入ると、20名ほどの児童・生徒や年配者が、つどいの広場で過ごしていた。また、2階の学習室でも、多くの高校生が静かに自習していた。春休みも終わり、また活気に満ちた日常がやってくる。



4月7日（月）

専門補導委員 記

巡回経路 十二川原公園 → 庄ノ上公園 → 浅科小学校前 → 若駒児童公園
→ 望月中学校入口（地下道） → ジリの木広場 → 布施温泉公園

活動の様子

佐久にもようやく春が訪れたと思わせる穏やかな天気だった。十二川原公園には「孫の面倒をまかされた」と話してくれた男性が、愛犬とともに孫を連れて公園に来ていた。孫は、佐久平浅間小学校に入学した新1年生で今日は、下校が早かったので遊びに来たとのこと。園内には、スケートボード用と思われる施設があり、土台はコンクリートの空洞設計で中には落書きがあった。庄ノ上公園に人影はなかった。ゴミの持ち込みに対して区長名で注意喚起する内容が四阿（あずまや）の柱に貼られていた。浅科小学校前の横断歩道で



公園内に人の姿は見られなかった。

多数の児童を見かけた。横断歩道前で停車すると、児童たちは横断歩道を渡り終えると運転者に向けて頭を下げてくれた。児童の端然とした姿に心を打たれた。若駒児童公園に、人影は確認できなかった。望月中入口信号機のある交差点付近の地下歩道を確認した。落書きを塗りつぶした跡を確認できたが、塗りつぶした以降の落書きは確認できなかった。ジリの木広場では、野生の猿が出没していると伺った。布施温泉公園では、温泉客は多く見られたが、

4月8日（火）

専門補導委員 記

巡回経路

若宮公園 → 浅間中学校西交差点地下道 → ねむのき公園
→ 近津南公園 → 中佐都児童館 → 根々井団地内公園

活動の様子

新年度が始まったので、下校時の様子を確認しようと思い、岩村田・中佐都小学校の通学路を巡回しながらルート沿いの公園を訪問した。ちょうど浅間中学校の下校時間帯と重なり、多くの中学生が家路を急いでいた。友達と談笑しながら下校する生徒の姿に接し、楽しく1年間を過ごしてほしいと思った。3月に「浅間中学校西交差点の地下道の壁に落書きがある」と連絡をいただき、状況を確認した後、佐久建設事務所佐久北部事務所に連絡したが、現況を確認した。その結果、落書きはすべて消去されており、きれいな地下道になっていた。訪問した若宮・ねむのき・根々井団地内の各公園には人影はなかったが、近津南公園には、保護者と訪れた幼児のほか、小学校低学年生と思われるたくさんの児童が遊んでいた。中佐都児童館には立ち寄らなかったが、20人以上の児童が館庭で楽しそうに遊んでいる姿を車窓から見る事ができた。

4月11日（金）

専門補導委員 記

巡回経路

中込駅 → 横町公園 → 平賀新町公園 → 佐久城山児童館 → 水上公園
→ 橋場公園 → 成田公園 → 原公園 → 城山公園 → 成知公園

活動の様子

薄い雲を貫いて差し込む光が、本格的な春の訪れを告げている。中込駅前には、25台ほどの自転車が、駐輪禁止地帯に止められていた。横町公園の桜は見ごろを迎えていた。佐久城山児童館を訪れると、大勢の児童で館内は溢れ返っていた。館長さんによると、120名ほどの児童が館を利用しているとのことだが、グラウンドが新設され、子どもたちが屋外で運動できるようになったことを感謝されていた。午後4時を過ぎ、下校の児童・生徒が目立ってきた。原公園では、サッカーをする2人の児童に話しかけた。新学期が始まり、新しい学級担任の先生とともに、楽しい毎日を過ごしていると笑顔で話してくれた。



4月14日（月）

専門補導委員 記

巡回経路

望月支所 → 望月児童館 → 五郎兵衛記念館 → 野沢多目的広場

活動の様子

春爛漫の季節となった。街道沿いの桜をながめながら、望月方面へ向かった。望月児童館の駐車場に車を止めると、館の庭には大勢の子どもたちが元気よく遊んでいた。春の陽気の下で、子どもたちの交わす会話の音が快く響いてくる。新しい館長さんから、男子児童と女子児童の数が、かなりアンバランスであると同ったが、当日の来館者も1年生は、男子2名、女子11名で、女子がかなり多いようである。望月、浅科方面で下校する



児童を何人か見かけたが、ヘルメットを着用し、安全に歩道を歩いていた。野沢取出町相生交差点から、新しい道路が開通した。近くに、多目的広場が新設されたが、多目的コートと休憩施設が使用可能となっている。当日も、10名ほどの小学生が訪れ、人工芝のコートで、サッカーを楽しんでいた。また、休憩施設でも、数名の女子児童が、学習していた。設備も立派で、小学生たちも大変満足していると話してくれた。完成はしばらく先のようであるが、地域のコミュニティー・スクエアとしての役割が期待できそうである。

4月15日（火）

専門補導委員 記

巡回経路

城山公園 → 原公園 → 下の宮公園 → 五稜郭公園

活動の様子

通常よりも早い時刻から街頭補導活動を実施した。入学当初、学校給食がなかった小学1年生に学校給食が始まったと聞き、下校の様子を確認しようと思い、野沢小・臼田小の通学路を巡回しながら公園を訪問した。活動時間帯が早かったせいか、通学路や公園に児童生徒の姿はなかった。臼田地区内の青少年健全育成協力店2店舗を訪問し、地域の子どもの様子を伺った。いずれの店主も「気になる問題行動はない。しっかりとあいさつできる子が多い」と好意的に話してくれた。今後とも青少年健全育成への協力をお願いして再び街頭に出た。午後4時40分頃、再び原公園を訪問すると、自転車に乗って遊ぶ児童やボールを蹴って遊ぶ児童など10人ほどがいた。本日、初めて行き会った児童はとても元気よく遊んでおり「早めに帰るよう」声かけをして児童と別れた。市役所の近くに来ると、野沢・臼田方面は青空が広がっていたが、岩村田方面は暗い雲が空を覆い、浅間山は真っ黒な雲で姿を隠していた。市役所到着直前には大粒な雨が車の屋根をたたき、突風が吹き抜けた。子どもたちのこれからの人生でも、晴天の時もあれば雨や強風が吹く時もあるだろうが、しっかりと強くまっすぐに大きく突き進んでほしいと願い、本日の活動を終えた。

4月16日（水）

専門補導委員 記

巡回経路

宇とう公園 → 大型スーパー → 大型スーパー内ゲームコーナー

→ 市民交流ひろば → ねむのき公園 → 近津南公園 → 長土呂団地

活動の様子

穏やかな日差しではあるが、強い風が吹く中の巡回だった。大型スーパーの来店客の混雑は見られなかった。一部の高校では健康診断が実施され、下校時刻が早まり、フードコートやゲームコーナーで過ごす生徒らが見られた。携帯電話取扱い店では、新学期が始まり、販売もピークを越えたとのことだった。また、18歳以上の成人に対しては、身分証明(マイナンバーカードなど)の提示、および個人口座を有する場合に限り、携帯端末の契約ができるそうだ。近年は、小学生のスマートフォン所持率も高いが、契約の規則は厳格に守られているとうかがった。市民交流ひろばでは、市外の私立中学校に通う男女6名の1年生が、学校生活について話してくれた。ねむのき公園では、6年生の児童が一人でサッカーの練習をしていた。近隣のフットボールクラブに所属しているそうだ。近津南公園では、8名の児童がサッカーボールで遊んでいた。近年、人口増加の著しい長土呂地区の団地を巡回すると、10名ほどの児童が、「Rip stick(リップスティック)」というスケートボードに似た遊具で遊んでいた。交通量の少ない団地内の敷地ではあるが、車に十分注意するよう声をかけると、人数分の「はい」の返事が返ってきた。



4月17日(木)

専門補導委員 記

巡回経路

佐久総合運動公園 → 内山 松井団地内公園 → 清川地区内公園

→ 平賀新町公園 → 横町公園 → 佐太夫町公園 → 伊勢宮児童公園

活動の様子

春の訪れが遅い佐久平ですが、ようやく桜の花が満開になりました。また、暖かいというよりも暑いと感じるほどの一日でした。このようなことから、たくさん子どもたちが公園で遊んでいるだろうと想像し、子どもたちとの出会いを楽しみに街頭補導活動に出発しました。中込・内山・田口地区内の公園を訪問しましたが、ほとんどの公園に人影はありませんでした。人がいたのは、内山の松井団地内の公園だけでした。この公園では、女子児童2名がそのまま大空に飛んで行ってしまうのではないかと思います。大きくブランコを揺らして楽しそうに遊んでいました。声かけすると2人とも小学6年生とのことで、最上級生としての心構えや来年度入学する中学校では「好きな絵を描ける美術部に入りたい」とはきはきと答えてくれました。笑顔が素敵な小学生の将来に幸多かれと願い、また、多くの子どもたちに屋外で遊んでほしいと思いその場を離れました。

* 日本気象協会開設の「Tenki Jp」で調べたところ、4月17日の佐久市は「最高気温 25.9℃、最低気温 1.1℃」でした。最高気温は「夏日」、最低気温は「氷点下目前」で、気温差はなんと 24.8℃でした。皆様、ご自愛を。

4月18日(金)

専門補導委員 記

巡回経路

佐久警察署 → 枇杷坂公園 → 若宮公園 → 平根児童館

→ 大型スーパー → 鼻顔公園 → 王城公園 → 円満寺 → 中央公園

活動の様子

花曇りとはよく言ったものである。まさに今日は花曇り。見かける桜は満開だが、浅間の雄姿は薄雲に隠れる。新学期が始まって2週間ほど経過したが、新入生もそろそろ学校生活に慣れてきた頃だろう。佐久警察署で所用を済ませ、隣接する枇杷坂公園に立ち寄ると、



近くの放課後等デイサービスの子もたちが、引率スタッフとともに遊んでいた。放課後等デイサービスは、専門のスタッフが、発達に課題がある児童の療育に携わる施設である。楽しそうに遊ぶ子どもたちに寄添うスタッフに感謝し、その場を後にした。平根児童館は、40名ほどの児童が利用してした。当日は参観日で、通常より利用者は少ないと伺った。暖かくなり、館の庭には大勢の子どもの姿があった。館内の遊戯室やその他の教室でも、子どもた

ちは、興味のある活動に、思い思いに取り組んでいた。鼻顔公園では、数組の親子連れが、のどかな春を満喫していた。

4月21日(月)

専門補導委員 記

巡回経路

泉団地内公園 → 泉野公園 → さくらさく小径
→ さくらいこどもひろば → 岸野児童館

活動の様子

天気も良く、多くの子どもたちに会うことができた巡回だった。泉団地内の公園では、中学生男子生徒1名を含む13名の男女児童グループが、鬼ごっこ、かけっこと園内を広く使って遊んでいた。食べ物を持ち込んでいたので、自分のゴミだけでなく園内のゴミも片づけて帰るように言って笑顔で別れた。泉野公園では、男子児童6名がサッカーをして遊んでいた。暖かくなってきたことで公園の使用頻度も高くなりそうとのこと。園内設置の

時計が止まっていたが、携帯電話を所持している子がおり、時刻を見ながら遊ぶように伝えた。さくらさく小径では、ポリバケツとトンガを手にした方がいたので尋ねたところ、シルバー人材センターの方で草刈りをする前段階として石拾いをしているとのことだった。いつも当たり前のように整備されている公園も人が手をかけてこそ、改めて感謝する思いだった。「さくらいこどもひろば」では、2名の女子児童



が楽しそうにブランコを揺らしていた。地区の公園ではあるが、きれいに整備されている。岸野児童館は、工作をする子、ドッジボール、ブロック遊び、みな楽しそうに遊んでいた。工作をしていた子は、出来上がった作品を披露してくれた。また、過日引き渡し訓

練を行い、災害時の対処についても実施済みとのことだった。

4月23日（水）

専門補導委員 記

巡回経路 宇とう公園 → 駒場公園 → 一本柳公園 → 成知公園
→ 佐久総合運動公園

活動の様子

曇天ながら雨に降られることはなかった。宇とう公園を経て駒場公園に行くと、父親の見守る中、男児2名が遊んでいた。水曜日は、水泳教室があり、教室が始まるまでの時間待ちをしているとのことだった。他に幼児3名が母親とともに砂遊びをしていた。一本柳公園では、父親と児童2名が遊んでおり、他に小学5年生2名がゲームをしていた。2人とも親との約束でゲームができる曜日が決まっているようだ。また、2名の中学女子生徒は、ベンチで友だちを待っていた。それぞれ1年生と2年生で、家庭科クラブに入っている2年生、美術部へ入部希望の1年生だった。学校生活を楽しく送れていると話してくれた。成知公園に行くと、総勢30人ほどの児童生徒が時間を過ごしていた。その中の5年生の女子児童3名は、ベンチに座り笑顔で話しをしていた。それぞれ、水泳、バスケットボール、フィギュアスケートをしているとのことだった。佐久総合運動公園では、母親とキャッチボールをしている小学5年生に会った。地区の育成会で野球をしているそうだ。今は、1塁手（ファースト）だそうだが、6年生になったら遊撃（ショートストップ）になりたいとのこと。「目標を達成できるようにがんばって」と声をかけると「はい」と返事をしてくれた。

4月24日（木）

専門補導委員 記

巡回経路 中央公園 → 王城公園 → 曾根公園 → 仙祿湖公園
→ 久保田公園 → 小田井児童館 → ねむのき公園
→ 市民交流ひろば

活動の様子

“世の中にたえて桜のなかりせば春の心はのどけからまし（在原業平朝臣）”桜の季節も終盤となり、公園の花吹雪が行く春の寂しさを誘う。今日の陽気に導かれて、久保田公園には5名の男女児童が遊んでいた。サッカーボールを蹴り合ったり、持ち寄った水鉄砲で水かけ遊びをしたり、笑顔で遊ぶ子どもたちの姿を見るのは楽しい。こちらから話しかけると、みんなが集まってきた。4年生が3人、5年生、6年生が一人ずつ。近所の子どもたちで、この公園をよく利用するという。今流行りのリップスティックで遊ぶ子に、安全には十分気を付けるように伝えたと、「はい！」と明るく答えてくれた。小田井児童館では、厚生員さんの発案で「ふしぎなタマゴ」作りに取り組んでいた。転がすと不思議な動きをするタマゴをみて、「すごいね」とほめてやると、嬉しそうに何度もタマゴを転がして見せてくれた。帰りがけ、市民交流ひろばの様子を車窓から眺めると、大勢の親子連れの姿が見られた。桜が散っても、春の心はのどかである。



概 要

平成26年4月に「信州あいさつ運動」がスタートし、本年度で12年目になります。「信州あいさつ運動」は「大人から子どもへあいさつすることで、子どもたちを元気づけ、地域ぐるみで子どもの育ちを応援する」ことを目的として実施しているものです。今日は、午前7時過ぎから約1時間30分、JR中込駅発着の列車に乗降する通勤者や高校生らに「おはようございます」とあいさつしながら「信州あいさつ運動実施中」のリーフレットと「育てよう 地域ぐるみで 青少年」のシールを張ったウェットティッシュを手渡しました。恥ずかしそうにする高校生がいる一方で元気よく「おはようございます」とあいさつを返す高校生も多くいました。たった一言の「おはようございます」ですが、明るい声であいさつが返ってくると自然に「気を付けて行ってらっしゃい」と声をかけていました。すると今度は「ありがとうございます」の言葉。「おはようございます」の一言で、言葉のキャッチボールができました。あいさつは、ただのあいさつかもしれませんが、相手を思う気持ちになり、心と心が通う一つのツールでもあるかと思います。早起きをしての活動でしたが、清々しい一日のスタートが切れました。

4月の活動を終えて 専門補導委員（S・T 記）

変 化 に 対 応 す る

佐久地方の桜の花は本当に美しい。桜の開花については、さほど興味がなかった。「春が来た」程度の感覚で何気なく見過ごしていたように思う。この歳になって少しは周りを見る余裕ができたのだろうか、数多くの桜で彩られるその美しさに足を止めて見入ったり、開花スポットを訪れたりする自分に驚いている。今まで随分損をした思いである。改めて興味のないものは、見えないものなのだなと思えてくる。これからは、少し歩む速度を緩めながら視野を広げるゆとりを持って行きたいと思う。



さて、今春、メジャーリーガーの大谷翔平選手が、妻の出産に立ち会うために産休制度「父親リスト」を利用したとの記事を目にした。2011年から導入された制度で最長3日間の休暇が取得できるとのことだ。アメリカの4大スポーツ（アメリカンフットボール(NFL)、ベースボール(MLB)、バスケットボール(NBA)、アイスホッケー(NHL))で現在、MLBのみがこの産休制度を実施しているようだ。日本プロ野球(NPB)でも似たような制度「慶弔特例」の創立を2021年選手会側が求めたが実現には至っていない。MLBでは、出産、入学式、卒業式、家族のイベントなどへの参加は、義務ではなく、権利として履行するようだ。今後、スポーツ界に関わらず様々な制度の変化が考えられる。

制度が変われば、それに合わせて対応の変化も迫られる。私たちの生活の中でも、変革を目指すならば、新たな混乱の発生も想定しなければならないし、変化には柔軟に対応して行くことも必要である。私たちの街頭補導活動に当てはめると、目まぐるしく変化する社会情勢に対応し、多くの児童・生徒と悩みを共有できるように、日々自己研鑽に努めることが求められる。